

Column

生保協の「業務品質評価制度」 初年度の認定は42代理店

生命保険協会が主体となって取り組んできた、乗り合い代理店の業務品質評価基準。初年度の認定代理店42社が公表され、2年目の応募もスタートした。

2月24日、東京都千代田区にある生命保険協会にて、業務品質評価の認定を受けた乗り合い代理店が公表され、併せて授賞式が開催された。認定されたのは、ほけんの窓口グループをはじめとする代理店12社だ(左下表参照)。認定されると、表の右上にある「認定マーク」を使用できるようになる。

この業務品質評価とは、今や大手生保を中心とした営業職員チャネルに欠け存在感を示すまでになった乗り合い代理店の業務改善につけて、これまで保険会社によってバラバラだった評価基準を、生保業界内で統一するために定めたものだ。評価項目は、顧客対応、アフターフォロー、個人情報保護、ガバナンスの四つの領域における、基本項目150と応用項目60の合計210項目。そのうち、基本項目150の基準を達成すれば、一定の業務改善をクリアしている乗り合い代理店とし

て認定を受けられる。代理店ごとに3人のチームを編成し、生保協が書面審査や代理店を訪問して審査を行う。時には数項目目による資料の再提出を求められるなど、審査を受けた代理店からは悲鳴が上がっていたほどだ。その業務品質評価の初年度に審査を申し込んだ代理店は54社。そのうち認定を受けたのは、42代理店とい

初年度は42代理店 業務品質評価で認定された代理店

| 所在地 | 認定された代理店 |
|----------|---------------------------|
| 栃木県宇都宮市 | 一般コンサルティング |
| 埼玉県春日部市 | エムケイコンサルティング |
| 千葉県千葉市 | イオン保険サービス(イオンのほけん相談) |
| 東京都千代田区 | グライブ |
| 東京都千代田区 | 東京海上あんしんエージェンシー |
| 東京都千代田区 | 保険ステーション |
| 東京都千代田区 | ほけんの窓口グループ(東京店) |
| 東京都港区 | R&C |
| 東京都港区 | いずみライフデザイナーズ(ほけん窓口) |
| 東京都港区 | ETERNAL(保険テラス 東京店) |
| 東京都港区 | カカコム-インシュアランス(保険.com相談) |
| 東京都港区 | 楽天インシュアランスプランニング |
| 東京都港区 | グッドワイン |
| 東京都港区 | ニューシティフィナンシャルコンサルティング |
| 東京都港区 | パルシステム共済生活協同組合連合会 |
| 東京都港区 | ライフサロン(ほけんの相談ショップ) |
| 東京都港区 | ライフプラザパートナーズ |
| 東京都港区 | アイリックコーポレーション(保険クニック 東京店) |
| 東京都港区 | 日本ファイナンシャルプランニング |
| 東京都港区 | フィナンシャルエージェンシー |
| 東京都港区 | NHS |
| 神奈川県横浜市 | F.L.P.(保険相談サロンFLP(ほけんの窓)) |
| 石川県金沢市 | ティ・アイ・エス(ほけんの窓口 加賀店) |
| 岐阜県岐阜市 | グローバルアイディアル |
| 静岡県浜松市 | ゲイン(保険クニック 加藤店/ゲイン) |
| 静岡県浜松市 | 遠州廣済 |
| 静岡県静岡市 | アイマーク |
| 静岡県静岡市 | 富野 エージェンシー(保険カンパニー) |
| 愛知県名古屋市 | アルファコンサルティング |
| 愛知県名古屋市 | エイジエントワイズ |
| 愛知県名古屋市 | エフケイ(エフケイ/保険窓口.com) |
| 愛知県名古屋市 | エラブ・サポート |
| 愛知県名古屋市 | ライフマスター |
| 京都府京都市 | ホロスプランニング |
| 大阪府大阪市 | アドバンスクリエイト(保険市場) |
| 大阪府大阪市 | コア・ライフプランニング |
| 兵庫県姫路市 | マーベリック(ほけんスマイル) |
| 広島県広島市 | クリエイティブ・ライフ |
| 山口県山口市 | 保険ひろば |
| 福岡県北九州市 | イデアムライフ |
| 福岡県北九州市 | ほけんの110番 |
| 鹿児島県鹿児島市 | 特サンリック |

う結果となったわけだ。2年目となる今年、申し込んだ代理店数は70社だ。想定より少ないのは、スタートしたばかりの制度であるため認知度がまだ低いのに加え、前述の通り初年度の発表発表を聞いたからか、この足を踏んだ代理店が多かった。だが、認定を受けるメリットは小さくない。というのも認定を受ければ、生保協社が各代理店の共通項目150枚の代替となり、クオリティはそのままの基準として取り入れる生保が出てきたりしているからだ。ま

た「これまであんなに多かった自社の業務改善の水車について、客観的に見直すべきだった」といった代理店の声もある。しかも、既に2年目の70社が全て合格したとすると、認定を受ける代理店数は合計で117社。これは総代理店数に対して7.7%にすぎないが、所属する募集人の数で見れば、11.8%にもなるのだ。つまり、「世の中の募集人の10人に1人が認定マーク付きの名刺を持つことになる」と、生保協の業務教育担当部長の濱田義博氏は言う。現状では生保協会に温度差があるが、業界を挙げての取り組みを金融庁も後押ししていること、いずれ認定マークの取得が当然となる時代が来るだろう。

保険のプロ27人が辛口採点! 代理店30社が逆査定
ベスト&ワーストランキング 生保会社ランキング

ダイヤモンド

2023 7/8
特別定価 850円

最強 保険見直し術

外貨建て・変額
リスク&手数料
の必須知識

相続・贈与にも使える!
保険選びの
超基礎知識



最新版 年齢別・車種別
自動車保険ランキング

保険は不要か?

生保・損保・代理店 販売大激変!